



# 浜松ハーモニーロータリークラブ週報

No.1025 2021.01.13 (水)

2020～21年度 RI会長 ホルガー クナーク

RI2620 地区ガバナー 志田洪顕(静岡ロータリークラブ)

Hamamatsu  
Harmony RC  
Weekly  
Bulletin

## 会長挨拶

## 山口勝義

皆さんも「しんきん経済研究所」はご存じだとは思いますが、先日「食品ロス」についての経済レポートがありました。食品ロスが年間 643 万トン発生していると推計されていて（農林水産省：平成 28 年度推計）、これは国連 WFP（国連世界食糧計画）が 2018 年に行った食料援助量（約 390 万トン）を大きく上回っていて、これを国民一人あたりに換算すると、毎日茶碗 1 杯分のご飯（約 130g）を捨てているのと同じ量になるそうです。コロナ禍では様々な制限を受け、私たちの生活・社会活動に大きな影響が出ていますが、この状況下であっても、食料の供給は、国内生産、輸入、流通、小売等の各関係者のご尽力により、途切れることなく続けられています。当初は、食料調達の不安感や家庭需要の拡大により米、パスタ、バター等について一部の店頭で品切れが発生しましたが、備蓄が十分にあるとの政府の呼びかけや、生産・流通等関係者の対応により解消されています。世の中に大きなパニックが起きない要因は、この食料供給のおかげであると思います。外食産業向けに契約栽培を行っている生産者等は、インバウンド（訪日外国人）を含めた外食・観光需要の減少などにより、売り上げが激減している一方で、現在では「巣ごもり需要」「応援消費」の出現やオンライン取引の増加などで一部が補われているとともに、生産者と消費者の距離が縮まった一面も見られ、また、食の大切さ、農林水産業への関心の高まりや、地方への移住の動きなども見られるそうです。



制限厳しい環境下において、食料が安定的に供給されるという安心感は重要です。それにもかかわらず、食品ロスは食料不足への対応や環境問題のほか、生産過程や流通におけるコスト、さらには生産者や労働者の手間や時間も無駄にしてしまうという問題を引き起こしています。SDGs（持続可能な開発目標）に盛り込まれたターゲットのひとつに「2030 年までに小売・消費レベルにおける世界全体の一人あたりの食料の廃棄を半減させる」という目標があります。本日の理事会議案にムンド校新奨学生選出がありますが、経済的に厳しく学校のフードバンクの寄付を受けている生徒もいるそうです。このようにどこに貢献していくことが意識向上や目標達成への足掛かりに繋がっていくのではないかと思います。今後検討してみてもはどうでしょうか。

## プログラム 「会員リレー卓話」

### 久米康弘会員

建築工事・建具工事の弊社（株）久米ウッドシステムの変遷及び業務内容の紹介



### 三ツ井康雄会員

映像と音声の制作会社である弊社（株）スタジオアドが制作した作品のビデオ紹介



### 佐藤央恭会員

自己紹介とこれまで自分が影響を受けた 3 人の方々の仕事や人生への忠告



## 幹事報告

配布物；ロータリーの友 1 月号、会費請求書 回覧；ガバナー月信 1 月号 例会後理事会のご案内、次週例会のご案内 例会後、集合写真撮影のお願い

舞会 →  
会員の  
エール  
望月  
お見  
隆明



## スマイル

**高部千奈美**（本日より次年度理事会がスタートします。皆様お手柔らかにお願いします。箱根駅伝で母校駒澤大学優勝万歳！）  
**岩澤秀治**（皆様、今年もよろしくお願いたします。正月が終われば次は節分！レターケースに恵方巻チラシを配布しました）



浜松ハーモニーロータリークラブ

〒432-8507 浜松市中区東伊場 1-3-1 グランドホテル浜松内

Tel: 053-413-1782 Fax: 053-413-1781 e-mail: hhrc@plum.ocn.ne.jp